

脱水傾向
モニタリング

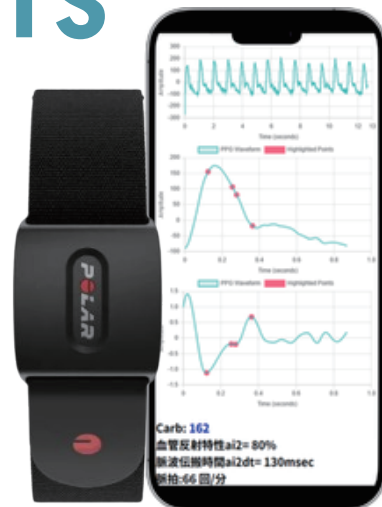
CarbSens

こんな方に

- ・食後の眠気・だるさの“背景にある生理反応の変化”を把握したい方
- ・運転・長時間作業時の眠気・だるさ・反応の緩慢さの“背景”を見える化したい方
- ・猛暑環境での身体負荷の変化を知りたい方

システム開発者の方へ

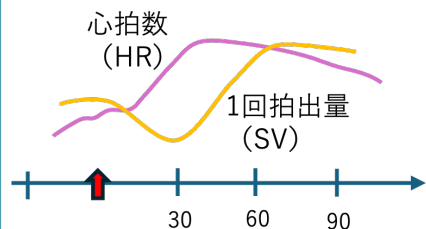
- ・熱中症・眠気・だるさの“背景にある生理反応の変化”を扱う機能を追加したい方
- ・運転者・作業者の身体負荷や反応の緩慢さの“背景”をリアルタイムに扱いたい方
- ・外部アプリと連携して CarbSens の解析結果をリアルタイムに利用したい方



脈波情報から
「脱水傾向の兆候」を把握

さまざまな要素が絡み合う「代謝の全体像」を捉え、さらにHR（心拍数）とSVproxy（1回拍出量代替値）の比率から、脱水に向かう“身体負荷の変化”を把握します。

自律神経機能評価 HR/SV 比率（脱水傾向）

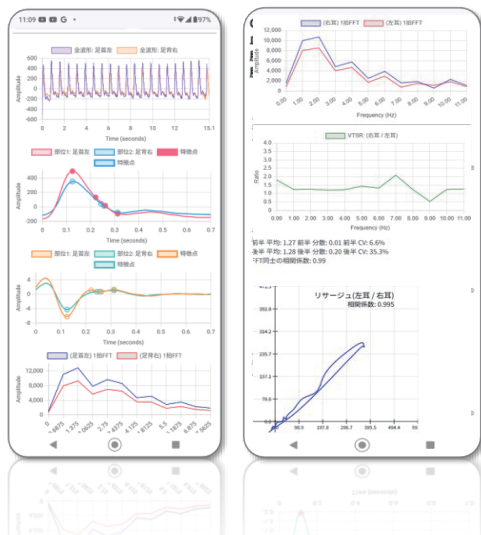


通常、食事などの刺激に対して心拍数 (HR) が上昇し、1回拍出量 (SV) も増えるため、両者はバランスよく連動します。
しかし、自律神経の反応性が低下したり、脱水状態では、HRが上昇してもSVが十分に増えず、HR/SV比率が大きく変動します。この“反応のズレ”が、身体負荷の変化を捉える指標になります。

専用のスマートウォッチ型センサー（Polar Verity Senseなど）を手首につけ、スマートフォンなどのアプリと連携させて日々のデータを記録・確認するサービスです。

測定部位 センサー2台（最大4台）同時測定（Dual機能）に対応

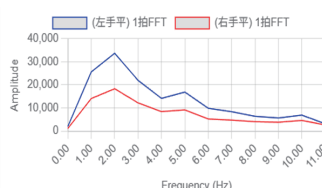
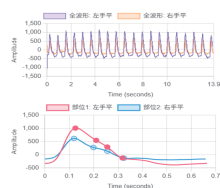
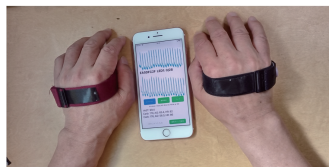
左右差の可視化など、ストレスや脳血流に関する研究用途にも有用です。



⚠️ 注意事項 CarbSensは、日常の健康管理をサポートするためのツールです。本製品は医療機器ではなく、診断、治療、または病気の予防を目的としたものではありません。測定結果や推定値は参考情報としてご利用いただき、健康に関する重要な決定を行う際には、必ず医療専門家にご相談ください。

CarbSens測定例

左右一脈波バランス・ストレス・自律神経機能評価

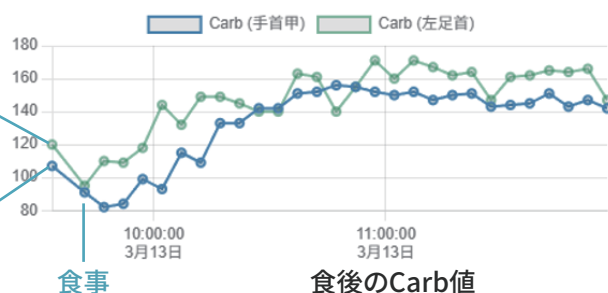


左右の手足など、複数部位の脈波を同時に計測し、脈波の「左右同期度」や波形の左右差をリアルタイムに比較・解析します。脈波は自律神経の左右バランス変化を反映し、脳血流の左右差に関する研究やストレス評価の指標としての応用が期待されています。

痛い思いをせずに「糖質応答」を推定できる

通常、血糖値を測るには指先などに針を刺して血を採る必要がありますが、CarbSensは手首にセンサーをつけるだけです。脈の打ち方（脈波）の変化から、糖質の影響や代謝の傾向（Carb値という独自の指標）を計算してくれます。

手首、足首での糖質応答モニタリング



※CGMのような遅延がない、足首はドライバーモニター用手首や足首の脈波の変化から、食事による糖質の影響や代謝の傾向を針を刺さずに推定します。食後や暑熱環境での身体の変化、運転時の反応の緩慢さなど、“背景にある生理反応”を把握するためのヒントとして活用できます。

■ 私たちについて

一般社団法人日本健康開発機構（JaWDA）は、「血管状態の可視化」を軸にした新しいヘルスケア基盤の構築を目指しています。生活習慣病・循環器疾患・認知症などの予防と早期介入に向け、非侵襲・連続的に可視化する独自の計測システムで研究開発・モニタリングサービスを提供しています。

■ 開発パートナー募集

私たちのビジョンに共感し、共に新しい価値を創造していただける企業様・研究者様の参加ををお待ちしています。

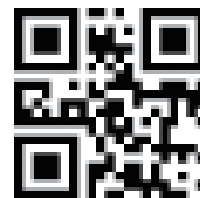
お問い合わせ

一般社団法人
日本健康開発機構（JaWDA）
〒103-0004
東京都中央区東日本橋3丁目4-10
アクロポリス21 8階
Tel: 03-6661-0506 /
Mail: contact@jawda.jp

さらに詳しい情報はこちらから



詳細技術サイトのご案内
<https://carbsens.com/>



公式ホームページ
<https://jawda.jp/>